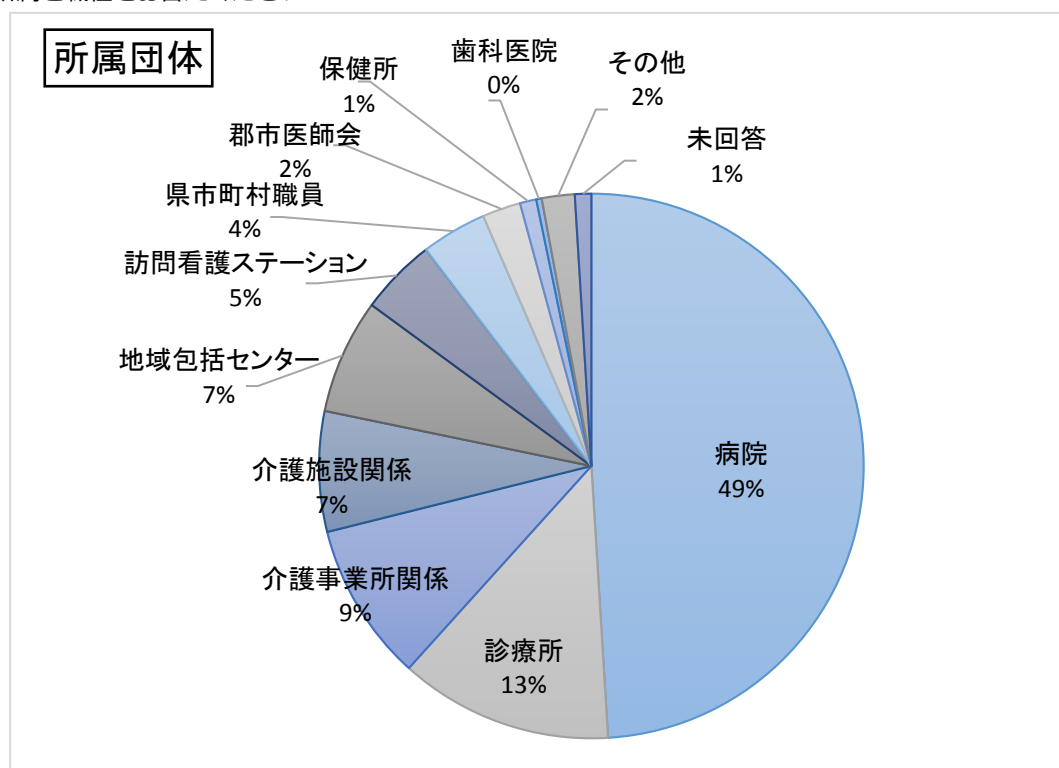


所属

病院	151人	49%
診療所	39人	13%
介護事業所関係	29人	9%
介護施設関係	22人	7%
地域包括センター	21人	7%
訪問看護ステーション	14人	5%
県市町村職員	12人	4%
郡市医師会	7人	2%
保健所	3人	1%
歯科医院	1人	0%
その他	6人	2%
未回答	3人	1%
	308人	

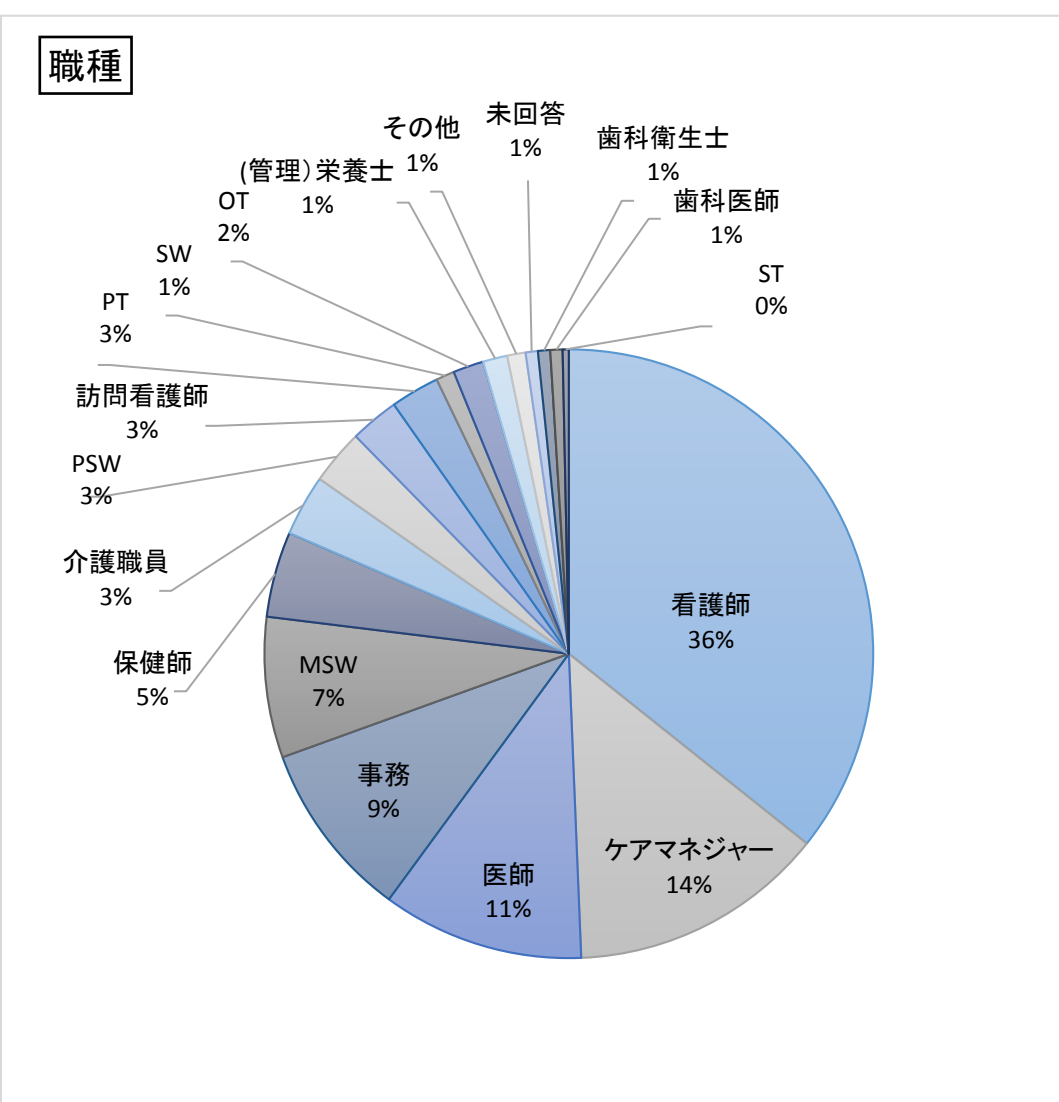
所属と職種をお答えください



その他内訳：社協1 居宅介護支援事業所2 県栄養士会1 一般1 不明1

職種

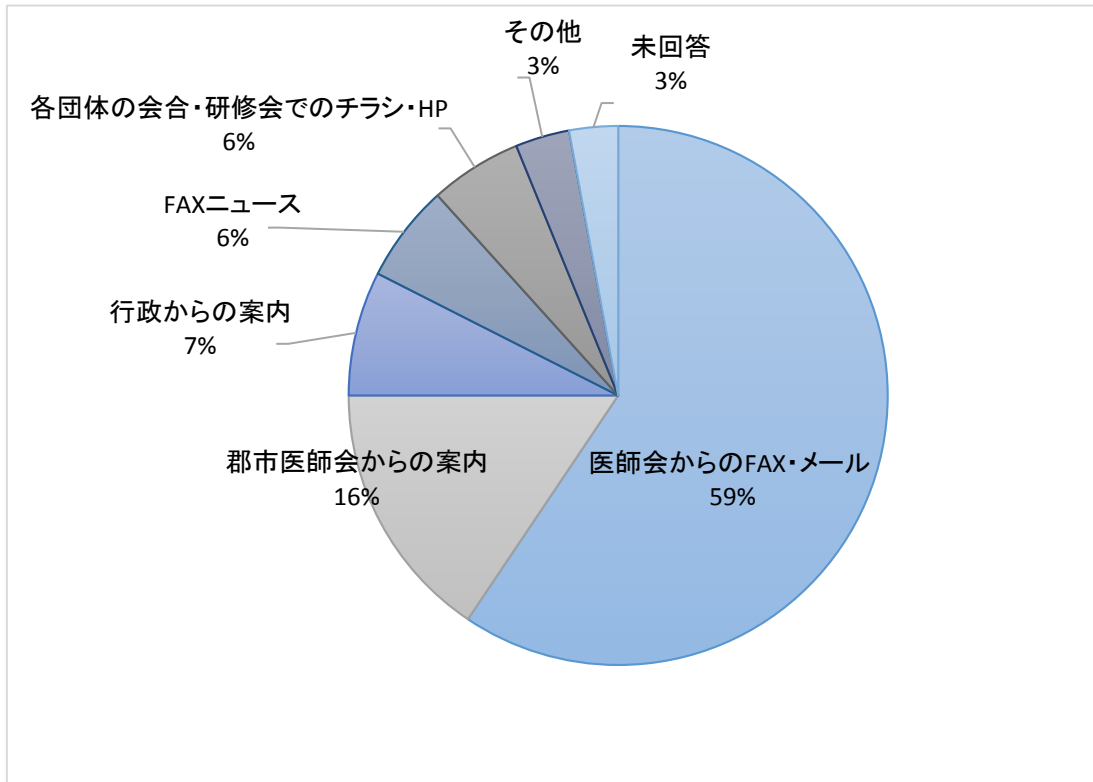
看護師	110人	36%
ケアマネジャー	42人	14%
医師	33人	11%
事務	29人	9%
MSW	23人	7%
保健師	14人	5%
介護職員	10人	3%
PSW	9人	3%
訪問看護師	8人	3%
PT	8人	3%
SW	3人	1%
OT	5人	2%
(管理) 栄養士	4人	1%
その他	3人	1%
未回答	2人	1%
歯科衛生士	2人	1%
歯科医師	2人	1%
ST	1人	0%
	308人	



その他内訳 管理者1 福祉用具販売員1 介護家族1

1 今回の研修会はどのようにしてお知りになりましたか。

医師会からのFAX・メール	183人	59%
郡市医師会からの案内	48人	16%
行政からの案内	23人	7%
FAXニュース	18人	6%
各団体の会合・研修会でのチラシ・HP	17人	6%
その他	10人	3%
未回答	9人	3%
	308人	



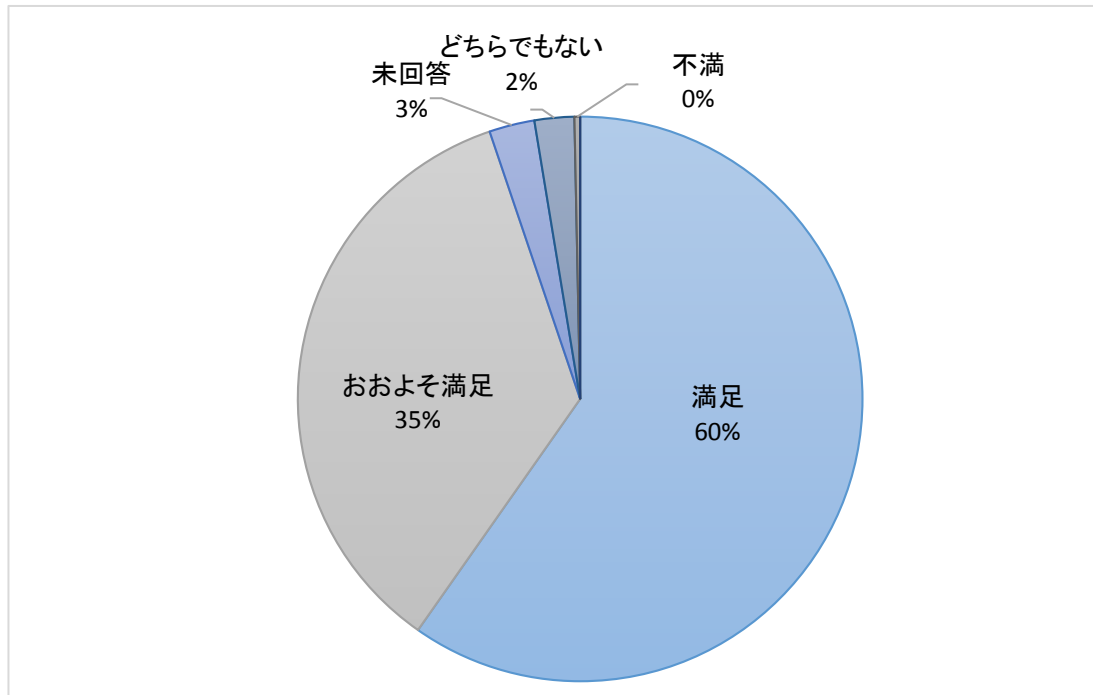
その他：勤務先より案内5名 未記入2名

インターネット1名

知人から紹介 2名

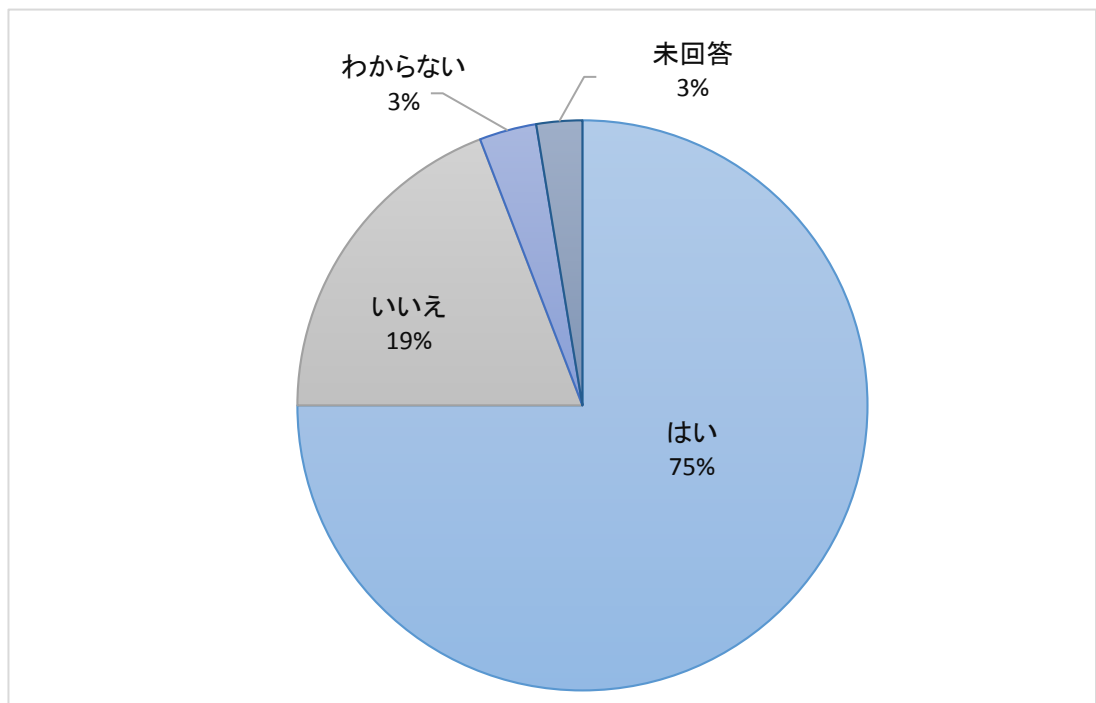
2 本日の研修内容はいかがでしたか。(1つのみ回答)

満足	184人	60%
おおよそ満足	108人	35%
未回答	8人	3%
どちらでもない	7人	2%
不満	1人	0%
どちらかといえば不満	0人	0%
	308人	



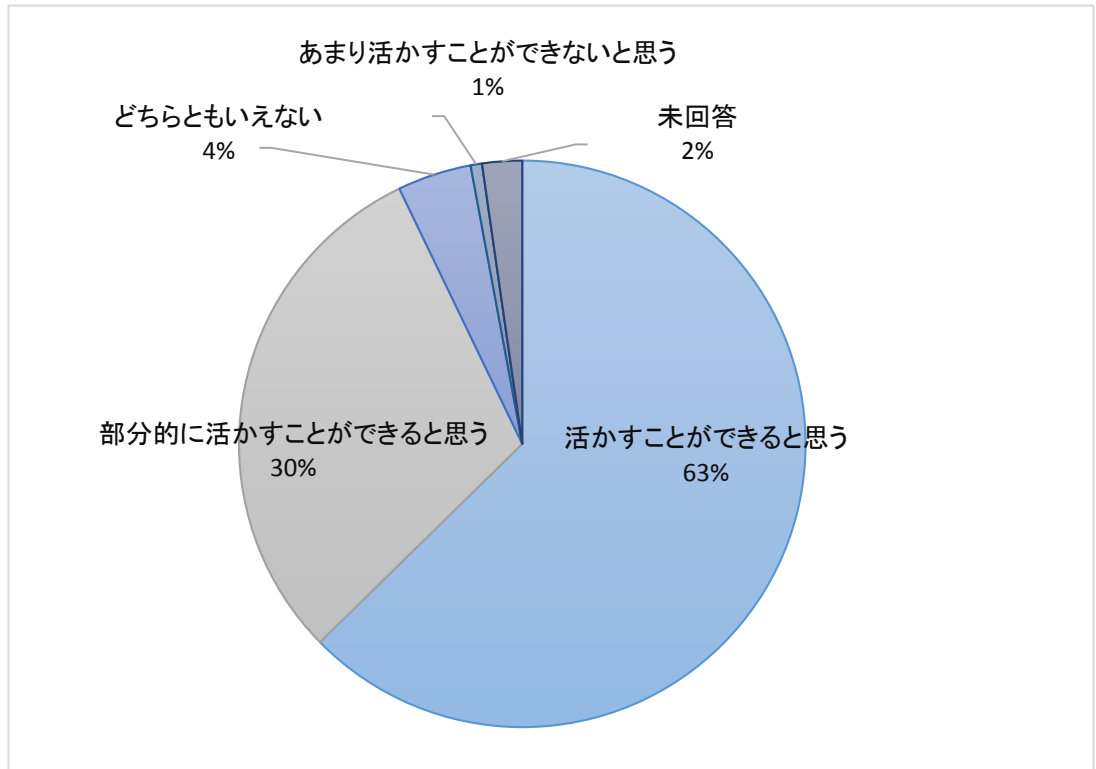
3 あなた、またはあなたの職場は、現在 在宅医療において多職種連携に取り組まれていますか。(一つのみ回答)

はい	231人	75%
いいえ	59人	19%
わからない	10人	3%
未回答	8人	3%
	308人	



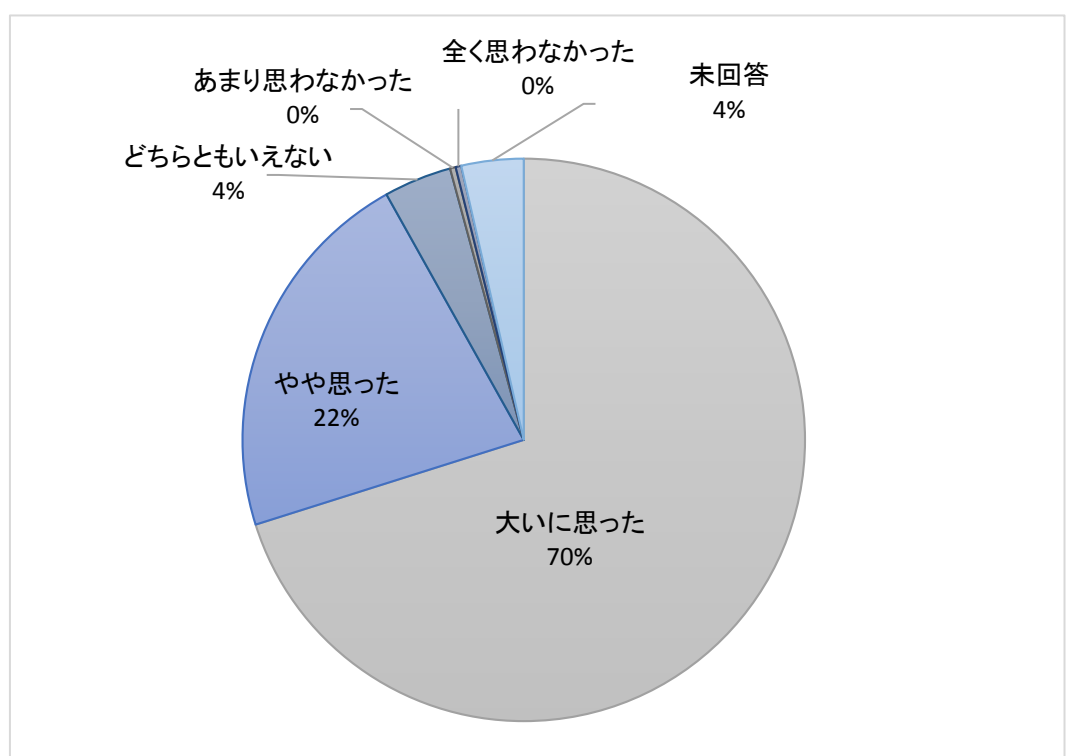
4 本日の内容は、今後多職種との連携に活かすことができそうですか。(一つのみ回答)

活かすことができると思う	193人	63%
部分的に活かすことができると思う	93人	30%
どちらともいえない	13人	4%
あまり活かすことができないと思う	2人	1%
全く活かすことができない	0人	0%
未回答	7人	2%
	308人	



5 本日の研修会を通して、今後在宅医療や連携に取り組もうと思われましたか。(一つのみ回答)

大いに思った	216人	70%
やや思った	67人	22%
どちらともいえない	12人	4%
あまり思わなかった	1人	0%
全く思わなかった	1人	0%
未回答	11人	4%
	308人	



多職種連携の推進についてどう思うか

①	「在宅医療には興味ない」とはっきりおっしゃるDrや「介護保険は制度として成り立っていない」とおっしゃるDrにどのように関わったらよいか
②	多職種連携について、医師会や行政(保険者)、保健所などが各医療機関のつなぎ役、仲介役になってほしい
③	顔の見える連携を行っていかないと、真の連携はできないと感じた。
④	多職種連携というが、それぞれの職種の専門性を知らないお互いの専門性を尊重した連携はできない
⑤	顔の見える関係を作っていくため、まずは病院内の組織を整備している最中です。リハの方からも地域をマネジメントしていく知識をもっとつけていきたいです。
⑥	かかりつけや訪問看護を利用していても、市町村の保健師へ相談される方がいます。ぜひ市町村への情報提供もお願いできたらと思います。
⑦	Drネットワークの構築が早急に必要。やる気はあってもレスパイト入院の整備や学会出張などが可能なシステムがほしい
⑧	多職種連携は必ず必要なことだと思います。私の働く病院の圏域も現在取り組んでいる所です。住民も巻き込んだ連携ができるといいなと思っています。
⑨	今後在宅患者が増えるわけで、マンパワーが不足しているなあと実感します。何しろ外来患者を抱えながら在宅の問い合わせがとて増えてきている。
⑩	退院時共同指導カンファレンスへの参加が必要と思います。
⑪	ICTが先にありきではなく連携を作ってからICTを利用したという話であり。参考になった
⑫	今後は、在宅で暮らす(暮らしていきたいと思う)高齢者が増加していく事は必至なので、かかりつけ医をとりまく多職種連携は切に望むところである。
⑬	今後超高齢社会になるので多職種の連携は非常に大切になっていくと思います。人の生活を支えるという意味でも職種間のコミュニケーション連携を大事にしたい。
⑭	例えば、入院患者さんが退院する場合に退院調整会議に院内の多職種の参加、院外の介護保険事業者(訪問看護・訪問介護)ができるだけ参加して顔の見える関係づくりが必要と考えます
⑮	中学校単位で連携を組み立て、それを市に拡大してゆく、大いに参考になった。

⑬	主治医の理解は重要と思います。主治医と家族、本人との意思確認は大変重要と思っています。
⑭	多職種を多事業所ととらえた場合、どこがオペレーションをするのか、研修の中であったように医師会にサーバーを置いた場合医師会なのかそれとも単なる情報を集約するのみで連携はそれぞれの事業所が考えるのか
⑮	中心となる職種はやはり医師だと思います。宜しく申し上げます。またマンパワー・人材育成だと思います。
⑯	私たちの周囲にも吉満Dr・篠原Drみたいに熱い方々がいらっしやると在宅医療が推進されると思います。私共の地域は残念ながらかえこみDrが多く連携が難しい状況です。

ご意見ご感想(一部抜粋)

①	<ul style="list-style-type: none"> ・大隅地域から会場に来るためには公共交通機関を使うとフェリーの時間等で3時間近くかかってしまうので、鹿屋市で放送が視聴できたら時間と経済的負担が軽くなると思うのですが。 ・静岡県医師会の在宅医療における地域包括の役割を聞いてみたかったです。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・私が住む地域の開業医のDrにも頑張ってもらいたい
③	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療のDrがたくさん増えてほしいです
④	<ul style="list-style-type: none"> ・眼科医です。眼科で今後どのように関与できるのか考慮中です。現在は往診のみです(年数回程度)
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に共感できた内容の話でした。日頃より「覚悟」という言葉を私も良く使います。医師の覚悟→家族への説明が第一で現場は看取りの覚悟はできていると思います。もっと医師への啓発を活発に行ってほしいと思いました。
⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・指示伺いにも以前はかなりエネルギーを使っていましたが、医師会の事業として在宅医療推進をしていただくことで心強いです。今度ともどうぞよろしくお願いいたします。
⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島県医での多職種連携システムとネットワークづくりを期待します。納得できる医療体制と納得できる看取り体制の中で最期を迎えたい。
⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネをしています。施設の中で業務をしているとどうしても施設寄りの考え方になってしまうため、地域包括と同じようにケアマネ業務ができるようになれば今よりも連携がスムーズにいくように思います。(ケアマネだけを同じ場所に集めるという点で)
⑨	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症がある人は一般科に嫌われてしまうことも多いため、どのような連携をとるかどのように理解してもらえるかがキーワードとなってくると思われる。
⑩	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関(急性期)のMSWとして自分自身連携をしっかり行っていたか、考えさせられる研修会であった。 私自身在宅医療、多職種連携ということで何ができるのか役割なのか考えていきたい。
⑪	<ul style="list-style-type: none"> ・これから取り組もうとしている医療のお話だったのでとても興味深く学習させていただきました、地域の勉強会にも積極的に参加したいと思いました。
⑫	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療の推進について急性期のDr達の教育が必要なのは？退院時カンファに在宅のDrが入っているケースはあまり例がないように思います。 医師会の中で在宅療養支援診療所の部会を作りリーダーを決めて多職種連携についての研修や勉強会をしてはどうでしょうか！